

私たちにどうかけがえのない
目録より良い環境づくり
のためには何をすべきか
この「大のり」が、ま
なげばならぬことです。
6月6日は「世界環境デー」
です。

平成元年 6/1
(1989年)

生活騒音特集号

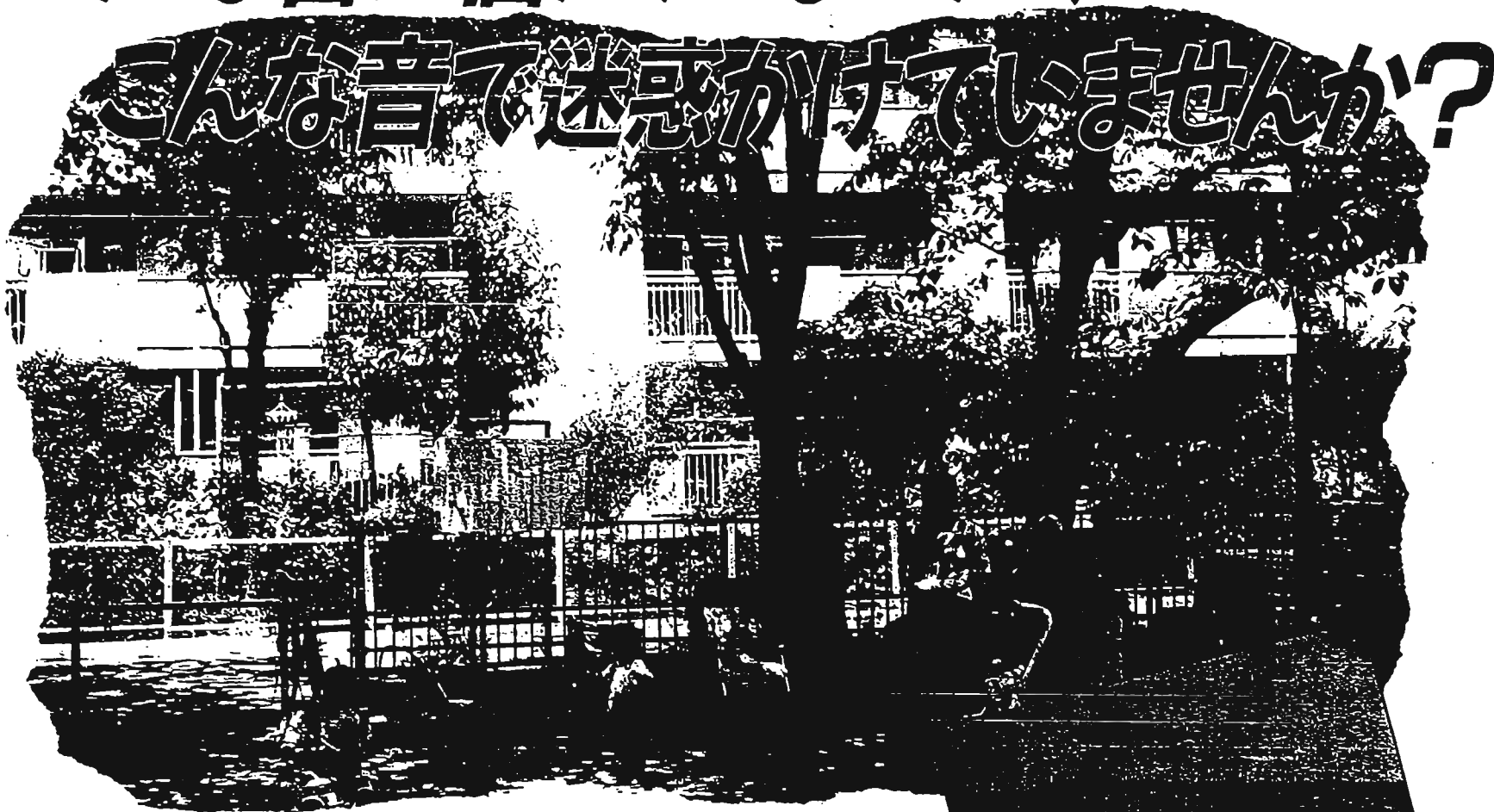
発行:東京都豊島区

編集:都市整備部公害対策課

〒170 豊島区東池袋1-18-1

☎981-1111

こんな音に悩んでいませんか!



うるおいのある生活を求めて

都市の生活は、物質的には大変豊かになりました。反面、生活に「うるおい」や「やすらぎ」がなくなったという声を目にします。快適な生活環境を求める声が高まりつつある近年、「生活騒音」が住みにくさの一要因に上げられるようになりました。

「生活騒音」とは、生活の中から発生する音で、迷惑と感じる音のことをいいます。

密集した都市では近隣からの影響を受けやすく、裏がえせば、私たちは、他人に影響をあたえやすい状態で生活しているともいえます。

しかし、——自分は他人にどのくらい迷惑をかけているのか——ということを正確に把握している人は少ないようです。

隣に言わないと分からないこともあれば、言うとかどが立つこともあります。生活騒音の問題は、隣近所との「つきあい方の問題」でもあるようです。

自分の生活を大切にすると同時に、他人の生活も大切にしたいですね。

快適な都市生活をおくるために、もう一度この問題を考えてみてはいかがでしょうか。

生活騒音

アンケートを

実施

昨年10月、区政モニターおよびO.Bの協力者合わせて339名を対象に「生活騒音」についてアンケート調査を実施し、「気になった生活騒音」「生活騒音への対処」「解決方法」等15項目について質問しました。有効回収数279 (82.3%)
(グラフ等は4面に掲載)

「迷惑を感じる音がある」と答えた人は6割でした。やはり、自分で出る音よりも他人が出す音の迷惑を感じるようになるようです。

行動にもとまどい

生活騒音による迷惑を受け、直接相手に苦情を申し入れたのは、5人に1人。迷惑と感じながら何も行動しなかった人が、5人のうち3人おり、注目されます。その理由としては、▼近所のことだから言いにくい▼ある程度のカマンは、おたがいさま▼一時的だから、などをあげています。

人が密集する都市生活ゆえに発生する生活騒音問題、

「自分で気をつける」が最も多かった。また、「迷惑を感じた場合、近所などを定めて規制する」は、注目された結果でした。生活騒音問題について「トラブルメーカー」の問題と考える人が多かったです。

※ 今回のアンケートは、対象者339名で、区内各地域の特性を知るには数が少なく、また、性別、年齢層にも片寄りがあったことから、このまま全区民の生活騒音に対する考えとするには無理があるものの、区民の生活騒音に対する意識傾向が、ある程度示されたものと思われます。

音響機器

購入時には低音型を選択するとともに、設置場所に注意する必要があります。

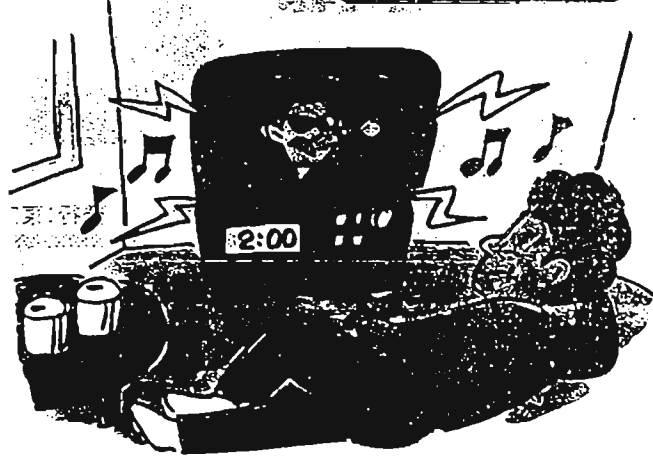
また、日頃から異常音などが出ているか確認しておくことが機械を長持ちさせるためにも大切です。

やはり深夜の使用は控えましょう。

テレビ・ステレオなどの音響機器はボリュームを調節し、適切な音量にすることが大切です。近隣に迷惑をかけないよう時間帯に応じたボリューム設定をしてください。

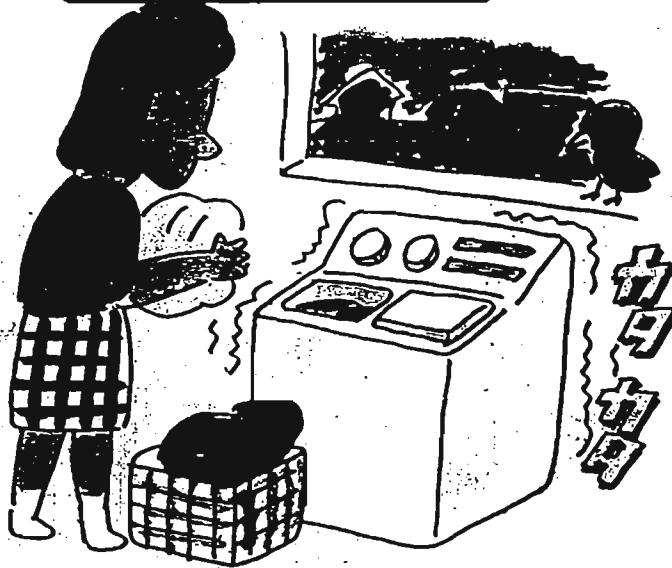
また、窓を閉めたり、窓・ドアの透き間をふさぐことも必要です。

深夜には、イヤホン・ヘッドホンで聴きましょう。



洗濯機・掃除機

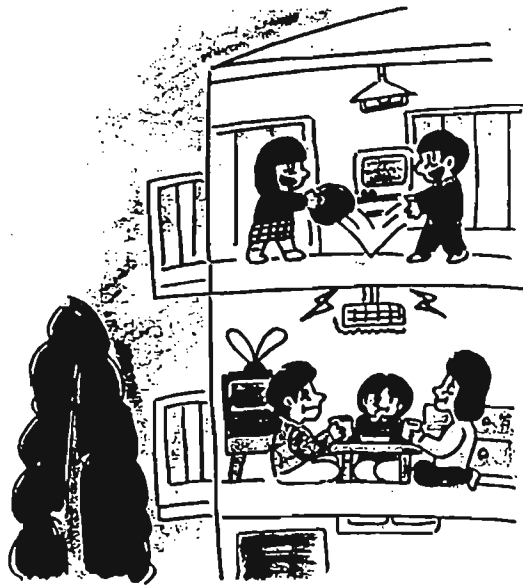
早朝・深夜の使用は控えましょう。洗濯機には防振マットを敷くと効果があります。



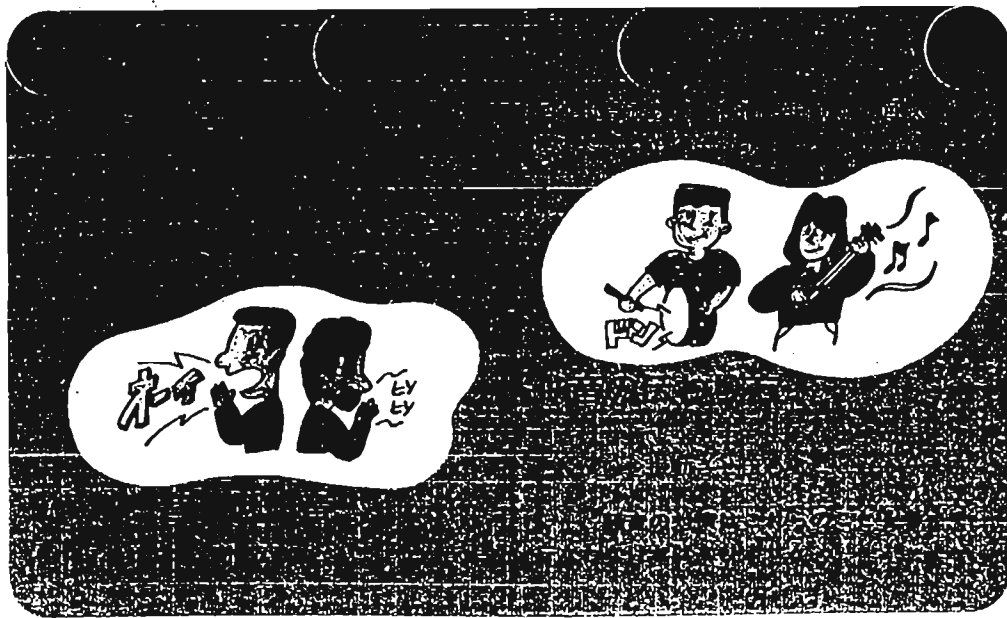
室内の足音・ドアの開閉

足音やドアの開閉音は、子どもがいる家庭では特に注意が必要です。

子どもに正しいマナーを教えることも必要ですが、床にカーペット・じゅうたんを敷くなどの対策も必要でしょう。一部の集合住宅では、入居時にこれらの対策が義務づけられているところもあるようです。



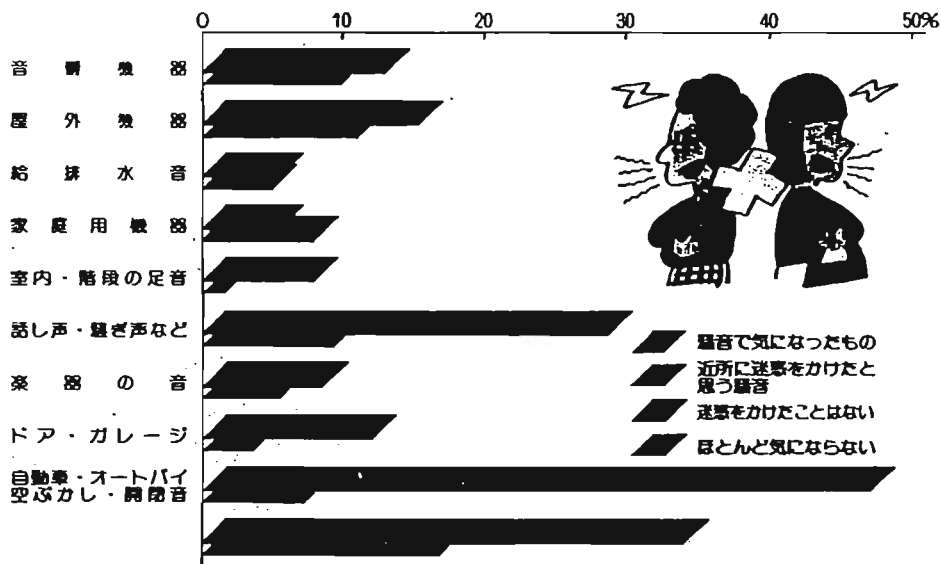
カーポート・シャッターの開閉



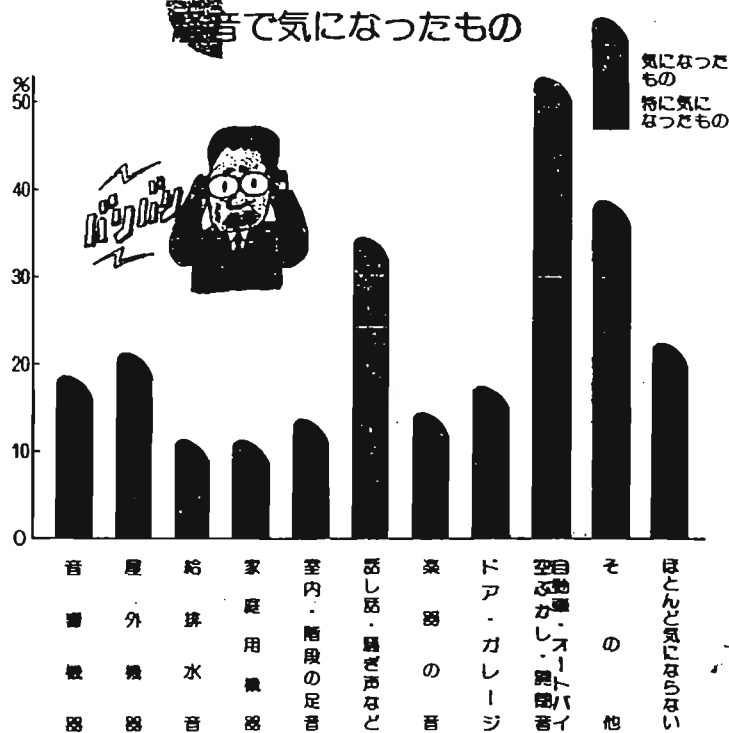
騒音はあなたも被害者・加害者に 静かな環境—みんなのモラル

区政モニターアンケートの結果より・S63/10

騒音で気になったもの 近所に迷惑をかけていると思う騒音との関係

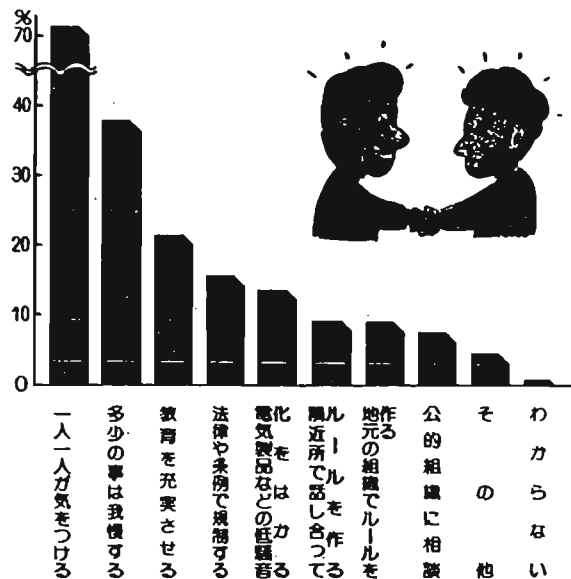


全体に加害者意識より被害者意識の方が高くなっています。その中で特に「自動車・オートバイの空ぶかしの音、自動車のドアの開閉音」は差が大きくなっています。「話し声・騒ぎ声など」の生活者の声は無意識のうちに他人に迷惑をかけている場合が多いものです。



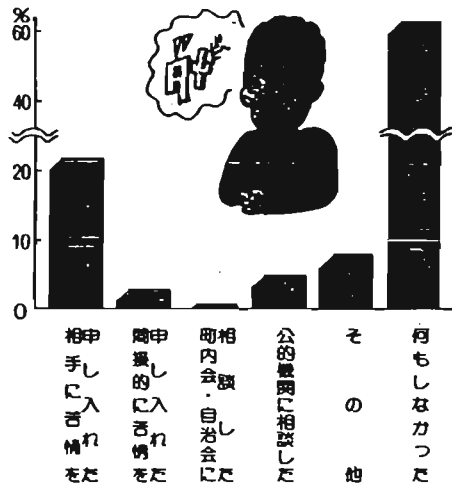
「自動車・オートバイの空ぶかしの音、自動車のドアの開閉音」は半数近くの人気がなっています。また、「話し声・騒ぎ声」など人が直接発する音も多くなっていました。その他には工事騒音・ベットの自動販売機・暴走族があげられていました。

生活騒音を解決する方法は



「一人ひとりが自分で気をつける」とする人が最も多くなっています。隣近所や町内会などで話し合ったり、公的組織に相談などはそれほど多くありませんでした。また、「お互い様だから多少の事は我慢する」が多いのが注目されます。

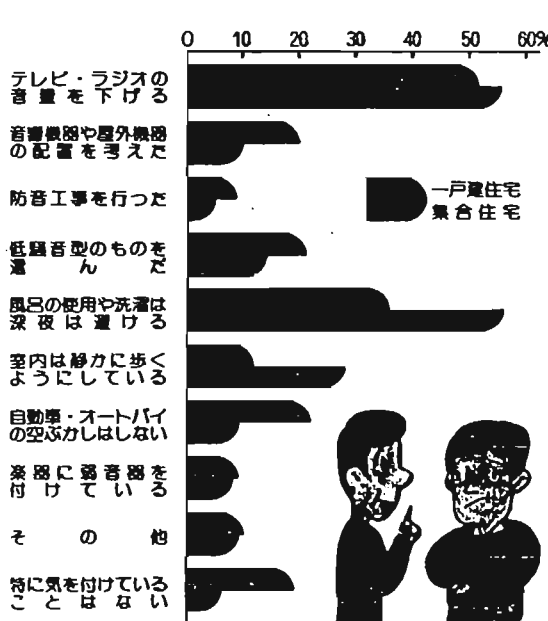
騒音に対してどうしたか



騒音に対して何らかの行動をした人は3人に1人の割合となっていますが、半数以上の人は何もしなかったとなっていました。

「テレビ・ラジオなどの音響機器の音量を下げる」が最も多く、次いで「風呂の使用や洗濯は深夜は避ける」となっています。「室内は静かに歩くようにしている」は集合住宅に多くみられました。

騒音に対して心掛けていること



環境週間の行事のお知らせ

本紙で照会しました生活騒音関係やその他の公害についてのパネル展示を行います。また測定機器の展示やビデオ放映も行いますので、お気軽にお立ち寄りください。

期間：平成元年6月6日(水)～6月9日(土)
場所：区役所1階ロビー

生活公害関係の問い合わせ先

- 公害一般 公害対策課 981-1111 内線 2841-3
- ベット 池袋保健所・長崎保健所 987-4171・957-1191
- ゴミ 豊島清掃事務所 984-9681